

## 評估指標一覽

## 評価指標（成果目標）

基本目標	基本施策	評価指標	評価対象	H22年度 現状値	H27年度 中間値	H32年度 目標値	
健康意識を高める	①健康づくりの普及・啓発	就寝時間が午後9時を超えない幼児が増加する	幼児	17.5%	20.5%	22.5%	
		就寝時間が午後12時を超えない小中学生が増加する	小中学生	94.3%	97.3%	99.3%	
	②地域保健活動の推進	公共施設の利用者数が増加する	市民	データなし	アンケート調査の結果から	中間評価時に設定	
		食生活改善推進員による伝達講習の参加者が増加する	市民	延べ1,063人	増加	増加	
生涯をととした生活習慣の定着	①食生活習慣への支援	朝食の摂取率が増加する	3歳児	98.5%	100.0%	100.0%	
			小学生	96.7%	100.0%	100.0%	
			中学生	94.4%	100.0%	100.0%	
			16歳以上	81.7%	83.0%	85.0%	
	②運動習慣獲得への支援	運動習慣者・日常生活において身体を動かすようにしている人を増やす	男性	65.2%	68.2%	70.0%	
			女性	63.4%	67.4%	70.0%	
	③口腔ケアの推進	無料歯科健診の「要治療」判定者が減少する	市民	37.1%	20.0%	15.0%	
	④禁煙に関する支援	禁煙者が増加する	成人	56.1%	58.6%	61.1%	
		妊婦や子どもの近くでは、たばこを吸わない人が増加する	成人	88.2%	90.7%	93.2%	
	⑤適正飲酒の普及啓発	1日3合以上の飲酒者が減少する	成人	9.7%	8.8%	7.8%	
疾病の早期発見・早期治療	①定期的な健診・がん検診受診の促進	30歳代健診の30・35・38歳の受診数が増加する	30、35、38歳	184人 (平成23年度)	200人	220人	
		各種がん検診対象年齢の最年少年齢の受診率が増加する	胃がん	40歳	4.6%	7.0%	10.0%
			大腸がん	40歳	6.8%	9.0%	13.0%
			乳がん	30歳女性	25.3%	30.0%	35.0%
	子宮がん	20歳女性	14.5%	18.0%	20.0%		
	②健診の事後指導の充実で利用の促進を図る	乳幼児健診の受診率が増加する	乳幼児	95.1%	97.0%	100.0%	
年に1回健康診断を受ける人が増加する		成人	71.3%	76.0%	80.0%		
生活習慣病・合併症の予防及び重症化の予防	①糖尿病対策 ③慢性腎臓病対策	国保特定健診結果での血糖値ヘモグロビンA1c6.1%以上(ただし治療中の者は除く)の者が増加しない	成人	8.4%	増加なし	増加なし	
		ヘモグロビンA1c6.1%以上および腎機能が中等度以上低下している者の医療機関受診者が増加する	成人	62.9%	70.0%	75.0%	
	②肥満対策	肥満(BMI25以上)者が増加しない	国保特定健診受診者(男女)	国保特定健診対象者	22.9%	増加なし	増加なし
			30歳代健診受診者	30~38歳	34.0%	増加なし	増加なし
こころの健康	①相談できる機会の充実 ②関係機関との連携体制の整備	睡眠によって休養がとれている人の割合が増加する	16歳以上	81.5%	82.4%	83.3%	